



交通安全だより

第85号 平成26年4月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>

交 通
安 全

セーフティさっぽろ

春の交通安全市民総ぐるみ運動 ご協力ありがとうございました！



H26.4.9 (水)
飲酒運転根絶

「交通安全バー贈呈式」

(タイムステーション札幌すすきのにて)
立体駐車場のゲートバーに「STOP! 飲酒運転」の注意札を取り付け、飲酒運転根絶を呼びかけました。

H26.4.10 (木)

交通事故死ゼロを目指す日

「LOVE&MANNER」 サイクルキャンペーン

(大通西1丁目にて)
自転車利用者に対して「歩行者やドライバーに、愛のある走行と交通ルール・マナーの遵守」を呼びかけました。



4月6日(日)～4月15日(火)の日程で、春の交通安全市民総ぐるみ運動が実施され、新入学児童・園児や活動期に入る自転車利用者の事故防止をはじめ、「子どもと高齢者の交通事故防止」、「自転車の安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)」、「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」、「飲酒運転の根絶」を重点に、各区でさまざまな交通安全への取り組みが行われました。

運動期間中、市内における交通死亡事故は1件1人発生し、0件であった前年同期間と比較すると、残念な結果となりました。

暖かくなるにつれ自転車利用者も多くなり、車での外出の機会も増え、交通事故の発生が懸念されます。間もなくやってくるゴールデンウィークも安全に無事故で過ごせるよう、一人ひとりが交通ルールを遵守し、譲り合いと思いやりの心を持って交通事故防止に努めましょう。

「黄色いワッペン」贈呈式が行われました



4月から市内の小学校に通う新1年生に交通安全を呼びかける「黄色いワッペン」の贈呈式が、3月14日に札幌市役所で行われました。

贈呈式には新1年生10名が出席。(株)みずほ銀行、(株)損害保険ジャパン、明治安田生命保険(相)、第一生命保険(株)の寄贈4社、ならびに、札幌市交通安全運動推進委員会副会長の井上唯文副市長が、交通安全を願い児童一人ひとりの胸にワッペンを付けました。

この「黄色いワッペン」は、愛するわが子を交通事故で失った母親の手紙をきっかけに、4社が昭和40年に始めた交通安全事業です。ワッペンを身に付けることで、学校に通う子どもたちに交通安全を呼びかけ、保護者やドライバーの方々の注意を喚起し、少しでも子どもたちの交通事故防止に役立てたいという願いが込められています。ワッペンには1年間の交通事故傷害保険が付いています。

新入学児童・園児を交通事故から守るために



住宅街の道路では「飛び出し」を警戒

小学生側の違反では「飛び出し」が最も多くなっています。子どもを見かけたら徐行し、急な飛び出しなどに十分注意しましょう。



登下校時間帯を警戒

登下校時間(7~8時、14~17時)は最も危険な時間帯です。この時間に通学路近くを走行するときは、特に注意しましょう。



駐停車車両を警戒

体が小さな子どもは、駐停車車両の死角に隠れてしまいます。駐停車車両の側方を通過するときは、しっかりと安全確認をしましょう。

横断歩道を渡る時は信号が青でも必ず左右を確認しましょう!